

高エネルギー放射線治療の乳癌に対する全乳房照射の場合（寡分割照射に係るものに限る。）及び強度変調放射線治療（IMRT）の前立腺癌に対する前立腺照射（寡分割照射に係るものに限る。）の施設基準に係る届出書添付書類

1 届出種別（該当するいずれか1つを○で囲むこと）		1：新規届出 2：再度の届出
実績期間 開始年月（和暦で記載すること）		年 月
終了年月（和暦で記載すること）		年 月
届出する項目 （該当するいずれか1つを○で囲むこと）		1：高エネルギー放射線治療の乳癌に対する全乳房照射の場合（寡分割照射に係るものに限る。） 2：強度変調放射線治療（IMRT）の前立腺癌に対する前立腺照射（寡分割照射に係るものに限る。）
2 当該医療機関における放射線治療の年間実施症例数		
① 高エネルギー放射線治療の年間実施症例数		例
② 強度変調放射線治療（IMRT）の年間実施症例数		例
③ 画像誘導放射線治療（腫瘍の位置情報によるもの）の年間実施症例数		例
3 小児入院医療管理料1の届出の有無 （該当するいずれか1つを○で囲むこと）		有 ・ 無
4 放射線治療を専ら担当する常勤医師の氏名等		
氏名		
勤務時間		時間
放射線治療の経験年数		年
5 放射線治療を専ら担当する常勤診療放射線技師の氏名等		
氏名		
勤務時間		時間
放射線治療の経験年数		年

[記載上の注意]

- 1 症例数は特掲診療料施設基準通知第2の4の（3）に定めるところによるものであること。
- 2 高エネルギー放射線の症例数は、新規届出の場合には実績期間内に50例以上、再度の届出の場合には実績期間内に100例以上が必要であること。
- 3 高エネルギー放射線治療の施設基準の届出を行う場合にあっては「2」①及び「3」を、高エネルギー放射線治療の乳癌に対する全乳房照射の場合（寡分割照射に係るものに限る。）の施設基準の届出を行う場合にあっては「2」①、「4」及び「5」を、強度変調放射線治療（IMRT）の前立腺癌に対する前立腺照射の場合（寡分割照射に限る。）の施設基準の届出を行う場合にあっては、「2」②及び③、「4」並びに「5」を記載すること。
- 4 「9」については、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の施設基準を届け出る場合に記載すること。
- 5 「4」及び「5」の常勤医師及び常勤診療放射線技師及び担当者の勤務時間について、就業規則等に定める 週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。